

令和7年度ポートセールス事業報告

1 普及事業

(1) セミナーの開催

①伏木富山港現地視察会 (参加：142名)

- ・実施時期：令和7年8月5日(火)
- ・実施場所：伏木富山港、旧第一イン新湊
- ・実施内容：基調講演、伏木富山港の紹介、伏木富山港の港湾施設の視察を実施し、本港の利用促進を図った。

(講演)

「富山新港のコンテナ船サービスの活用事例について」

リードケミカル株式会社 海外事業部

マネージャー 森田 伸一 氏

「内航コンテナ船という選択」

井本商運株式会社 営業部 海コン便事業課

島田 鏡平 氏

「世界経済の展望～トランプ政権下の経済政策を中心に～」

日本貿易振興機構(ジェトロ) 調査部 国際経済課

課長代理 田中 麻理 様

②伏木富山港利用促進セミナー (参加：147名)

- ・実施時期：令和7年12月19日(金)
- ・実施場所：マイナビPLACE 歌舞伎座タワー 23階
- ・実施内容：県内に事業所を有する企業や県内企業と取引のある商社、船会社等を対象にセミナーを開催し、本港をPRした。

(講演)

「物流効率化に向けた伏木富山港の活用」

大東建託株式会社

代表取締役 社長執行役員 CEO 竹内 啓 氏

「ONEの伏木富山港の利用実績とコンテナ船業界の動向」

オーシャンネットワークエクスプレスジャパン

営業本部 部長 栗崎 恵司郎 氏

「揺らぐ国際通商秩序と日本」

(2) 展示会への出展

①国際物流総合展 2025 への出展

- ・実施時期：令和7年9月10日（火）～13日（金）
- ・実施場所：東京ビッグサイト（東京国際展示場）（東京都）
- ・実施内容：物流展示会に伏木富山港ブースを出展しPR

②T-Messe2025 富山県ものづくり総合見本市（富山）への出展

- ・実施時期：令和7年10月30日（木）～11月1日（土）
- ・実施場所：富山産業展示館（テクノホール）
- ・実施内容：見本市に伏木富山港ブースを出展しPR

(3) 荷主企業等の訪問（R7：55社訪問（県内16社、県外39社））

- ・県内外の荷主企業を訪問し、インセンティブ制度やトライアル輸送実験補助金のPR等を通じ、本港の利用拡大を働きかけるとともに、各企業の国際物流の現状やニーズを把握した。また、県によるインセンティブ制度について、企業訪問を通じて伏木富山港の積極的な利用を働きかけた。

(4) その他各種事業

海外からバイヤーを招へいして行われた商談会に参加し、伏木富山港のPRを通じて利用促進を図った。

(5) 海外ポートセールス訪問団

①派遣期間 令和8年1月13日(火)～16日(金) [3泊4日]

②訪問先 韓国(ソウル・釜山)

③参加者 団員:10名

構成:伏木海陸運送(株)、日本通運(株)北陸支店、富山港湾運送(株)、
荷主企業、県(立地通商課、港湾課)

④活動の結果(概要)

○伏木富山港に定期コンテナサービスを有する船会社6社、NAMSUNG(南星海運)株式会社、PANCON(汎洲海運)株式会社、CK LINE(天敬海運)株式会社、KMTC(高麗海運)株式会社、SINOKOR(長錦商船)株式会社、HEUNG-A LINE(興亜LINE)を訪問し、伏木富山港のコンテナ取扱量の現状や今後の見通しなどを説明するとともに、航路の維持・拡充や安定就航を呼びかけた。

各船社からは、昨今のコンテナ貨物の取扱状況、航路の維持・拡充を含めた今後の事業展開について説明を受けるとともに、スケジュールキープやインターバルの確保に関して意見交換を行った。

また、メガキャリアであるHMM(エイチエムエム)を訪問し、コンテナ取扱数の現状や今後の事業展開について説明を受けるとともに、伏木富山港について意見交換を行った。

○釜山港を訪問し、釜山港湾公社より混雑状況や将来の拡張予定について説明を受けるとともに、韓国初の完全自動化ターミナルである「東遠グローバルターミナル」(ONEが使用)を視察した。

2 啓発事業

- (1) PRリーフレットの作成(2,500部)
- (2) 伏木富山港PRノベルティの作成・配布
- (3) ホームページ更新(随時)